

科目名	臨床看護概論Ⅲ (治療処置別看護)					DP1、DP2、DP3 DP4、DP6	看護高等課程
学年	1年	分野	専門 基礎看護 臨床看護概論	時間数	29時間	担当 教員	専任教員
科目 概要	治療・処置に伴う看護の特徴を踏まえ、対象に応じた看護や基本的な救命救急処置の方法を学ぶ。また、事例を通して、適切な看護を実践するための基本的な考え方や知識・技術を統合し探求していく能力を身につけられるように学んでいく内容とした。問題基盤型学習、自己指向型学習、小集団討議、プレゼンテーションなどを活用し学ぶ。						
到達 目標	1. 治療処置が対象の日常生活にどのような影響を与えているのか考えることができる。 2. 対象者への看護を考え、看護の実際について理解することができる。 3. 基本的な救命救急処置の方法を理解することができる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～14	治療・処置に伴う看護	検査を受ける患者の看護 安静療法を受ける患者の看護 食事療法を受ける患者の看護 運動療法を受ける患者の看護 放射線療法を受ける患者の看護 透析療法を受ける患者の看護 手術療法を受ける患者の看護				講義	専任教員
	救急処置を受ける患者の看護	救急処置の意義・目的 救急処置の特徴 救急処置を受ける患者の看護の実際 心肺蘇生法、一次救命処置・二次救命処置 AEDの使用法				講義 演習	専任教員
15	試験	(1時間)				試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。 (ペーパーテスト、パフォーマンス課題、ルーブリック 合計100点)						
評価 方法	出席状況と講義演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。 また、シミュレーション演習、パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。						
教科書	新看護学 8 基礎看護 [4] 臨床看護概論 医学書院、ケアに生かす 検査値ガイド第2版 疾患別看護過程の展開 学研、看護過程に沿った対症看護 学研 必要時、資料等は配布する。						
履修上 の 注意点							